

2/15 2023

米軍への空域提供拡大

高橋議員追及 民間機への危険増す

衆院予算委

日本共産党的高橋千鶴子議員は14日、衆院予算委員会で、米軍三沢基地（青森県三沢市）所属の空軍部隊が訓練のため使用する臨時訓練空域「マグナム」の存在を裏付ける資料を提示し、政府もその存在を認めました。高橋氏は「日本の空なのに日本政府の管制によるない空域が広がっており、国民の危険が増している」と批判しました。

↓論戦ハイライト②面

高橋氏は、米軍の臨時訓練空域（アルトラップ）の一つである「マグナム」についての20年10月18日の毎日新聞の報道を引用し、19

が訓練のため使用する臨時訓練空域「マグナム」の存在を認めました。高橋氏は「日本の空なのに日本政府の管制によるない空域が広がっており、国民の危険が増している」と批判しました。

年6月から東京ドーム約4万6千個分に当たる約21万6千個分に当たる約21

存在を認めました。

60平方キロも拡大し、空域提供が増加したことを指摘。同米軍基地の第35戦闘航空団のホームページ掲載の「MAGNUM AIR SPACE (マグナム・エースペース)」に記載される航空高度の数値が、毎日新聞の記事報道にある高橋氏は、「マグナム空域」を含め、実際は固定化している疑いがあります。高橋氏は、「マグナム空域」を含め、実際は固定化している

時間とともに終了する」と述べ、「時間とともに終了する」と批判しました。

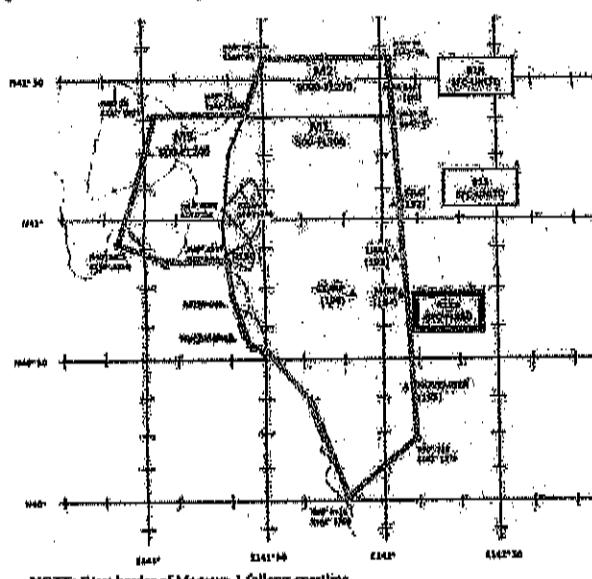
→論戦ハイライト②面

高橋氏は、米軍の臨時訓練空域（アルトラップ）の一つである「マグナム」についての20年10月18日の毎日新聞の報道を引用し、19

が訓練のため使用する臨時訓練空域「マグナム」の存在を認めました。高橋氏は、「マグナム空域」を含め、実際は固定化している

■米軍の訓練空域「マグナム空域」

Figure A7.1. MAGNUM Airspace.



出典 第35戦闘航空団 お歳暮(2022-12月22日)(1) (2) (3) (4)



開催する高橋千鶴子議員は14日、衆院予算委